

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 28 日

評価対象事業	評価者	市民健康課長	石黒 知美
健福-37 予防接種事業	<input type="checkbox"/> 自治事務	主管課	市民健康課
	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針
市民の健康と安心づくりの推進			

1 事業の目的

対象	市内在住の乳幼児等
意図	感染症の発生、まん延を予防するため。
効果	抵抗力をつけ、感染症の流行を抑え、また重症化を防止する。

2 平成27年度に実施した事業の概要

ポリオ、BCG、MR(麻しん風しん)混合、麻しん、風しん、DPT三種混合、DPT/IPV四種混合、DT二種混合、日本脳炎、インフルエンザ、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌、水痘、高齢者肺炎球菌の予防接種を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	387,717	376,224	当初予算(千円)	474,753			
	国県支出金	419	296	国県支出金	626			
	地方債	0	0	地方債	0			
	その他	0	0	その他	0			
	一般財源	387,298	375,928	一般財源	474,127			
	人員配置数	2.6	2.6	人員配置数	3.7			
事業経費運営	人件費(千円)	19,689	20,964	人件費(千円)	29,153			
	総事業費(千円)	407,406	397,188	総事業費(千円)	503,906			
	市民1人当りの経費(円)	2,296	2,241	市民1人当りの経費(円)	2,849			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
有 効 性	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
公 平 性	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	予防接種法に基づく定期接種が増えた場合、それに対応する必要がある。		
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	公衆衛生の見地から予防接種の実施は必要であり、市民の健康の保持に寄与している。今後も引き続き同事業を円滑に実施していきたい。定期化が検討されている予防接種については、国の動向を把握していく必要がある。今後、定期接種となる予防接種が増えてきた際、A類についても自己負担金の徴収を検討する余地はある。
-------------------	--

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	インフルエンザワクチンは株の種類が増えたため、単価変更により委託料が上がったが、広報等で事前にアナウンスしていたことから、自己負担金は値上げせず、昨年度と同額(1,600円)で実施した。 子宮頸がん予防ワクチン接種後の健康被害に対し、国や独立行政法人医薬品医療機器総合機構による健康被害救済の審査が、平成27年9月から再開された。これにより、県が平成27年8月から実施していた支援制度が見直され、平成27年度10月31日実施分までで終了となった。 (不適切な事務処理) 予防接種における不適切な事務処理を行っていた。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	インフルエンザ予防接種の自己負担金増について、鎌倉市医師会と協議した。 子宮頸がん予防ワクチンの健康被害救済制度について、市内の接種者に案内を送付した。 (不適切な事務処理) 平成22年度から26年度までに実施した全予防接種の再確認を行った。不適切な事務処理に関する調査委員会の調査を受け、鎌倉市予防接種健康被害調査委員会において、誤接種の再発防止について検討を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	おたふく・B型肝炎等が定期化に向けて検討されており、実施のための要綱改正やシステム改修等の体制整備が必要。 (不適切な事務処理) 誤接種した医療機関名の公表基準や方法等の検討ができなかった。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較)

比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方										

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	予防接種率の向上	単位	%	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
予防接種法に基づく定期予防接種を公費負担することで接種率を向上し、感染症の発生とまん延を予防する。	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	
	実績値	87.7	95.0				
	達成率	97.4%	105.6%				
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方							

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input checked="" type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--